



関西フィルハーモニー管弦楽団 ホームタウンを門真市に

©s.yamamoto

音楽と活気あふれるまちをめざして ホームタウンパートナー協定を締結



関西フィルの皆さんと門真市長（左から2人目）

11月16日、文化芸術の振興と地域教育環境の充実のため、市は関西フィルハーモニー管弦楽団と「ホームタウンパートナー協定」を締結しました。

令和3年4月からルミエールホールを練習拠点とし、子どもたちの鑑賞機会の創出や市民を対象とした公開練習の実施などに取り組み、「音楽と活気あふれるまち」をともにめざします。



©Shin Yamagishi

関西フィルハーモニー
 管弦楽団

1970年に発足し、2020年に楽団創立50周年を迎える。関西を代表するオーケストラの一つとして、芸術文化の発展に寄与するため、積極的に活動している。

関西フィルハーモニー管弦楽団
 首席指揮者

藤岡幸夫さん

練習拠点を門真市に移し、新しくなったルミエールホールで練習ができることを大変嬉しく思います。大ホールを利用できるという環境は念願でした。

「オーケストラが門真市の誇りになるように！」そんな気持ちで、音楽をお届けします。とにかく、皆さんに音楽を楽しんでもらいたいです。

▶「オーケストラはクラシックだけではなく、映画やJ-POPなどさまざまです」と藤岡さん（右）は語ります



新型コロナウイルス 受診相談体制が変わります。詳しくは3面をご覧ください

年末年始のお知らせ【3面】

